

令和7年度第4回市民ボランティア講座  
「挑戦する力・支える力～未来を拓くシンポジウム～」開催要綱

1. 目 的 夢に向かって挑戦することや、その過程を支えることの大切さや魅力等をスポーツ現場の多様な立場から考え、地域の未来につなげていくことを目的に開催します。
2. 主 催 名寄市社会福祉協議会／名寄市ボランティアセンター  
Nスポーツコミッションなよろ
3. 共 催 名寄市／名寄市立大学
4. 日 時 令和8年1月23日（金）18：00～20：00  
(受付17：30～)
5. 場 所 名寄市立大学 図書館 1階 大講義室（名寄市西4条北8丁目）
6. 内 容 シンポジウム「挑戦する力・支える力～未来を拓くシンポジウム～」  
シンポジスト  
・狩野 亮 氏  
一般社団法人 SPICE.F 代表理事  
バンクーバーパラリンピック 滑降3位／スーパー大回転1位  
ソチパラリンピック 滑降1位／スーパー大回転1位  
  
・小淵 和也 氏  
笹川スポーツ財団 研究調査グループ 政策ディレクター  
  
・清水 幸子 氏  
名寄市立大学 保健福祉学部教養教育部 准教授  
  
コーディネーター  
・松澤 大介  
Nスポーツコミッションなよろ 事務局長
7. 参加対象 中高生／大学生／保護者／スポーツ関係者／地域住民  
など、どなたでも参加いただけます。
8. 定 員 250名

9. 参加費 無 料

10. 申し込み 1月13日（火）までに申込フォームからお申込みいただくか、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【申込フォーム】

→



11. その他 ・手話・要約筆記通訳が付きます。

#### ■シンポジスト紹介

狩野 亮 氏 一般社団法人 SPICE.F 代表理事

バンクーバーパラリンピック 滑降3位／スーパー大回転1位

ソチパラリンピック 滑降1位／スーパー大回転1位

8歳の時に交通事故で脊髄を損傷し下半身不随となるが、チェアスキーでその才能を開花させ、冬季パラリンピックには2006年のトリノ大会から5大会連続出場。

合計で金メダル3個、銅メダル1個と獲得。

現在は後進の育成の他、一般社団法人 SPICE.F 代表理事として障がい理解の啓発や社会にある「障がい者像」を変えていく取組を進めている。

小淵 和也 氏 笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 政策ディレクター

筑波大学人間総合科学学術院リハビリテーション科学学位プログラム 博士後期課程修了 博士（リハビリテーション科学）。スポーツ庁・スポーツ審議会健康スポーツ部会障害者スポーツ振興ワーキンググループ 委員、東京都スポーツ振興審議会委員、日本パラスポーツ協会技術委員会アドバイザー、ヤマハ発動機スポーツ振興財団障害者スポーツプロジェクト委員などを務める。

清水 幸子 氏 名寄市立大学 保健福祉学部教養教育部 准教授

上越教育大学大学院学校教育研究科修了 教育学（修士）、アルペンスキー選手後は技術選手権にもチャレンジし、引退後はスキー指導者の道へ。専門学校、短期大学、大学でスポーツ科学の教員として勤務しながら、子どものスキーや、ジュニアスキー選手の指導に携わる。

現在は名寄市のスポーツツーリズム会議メンバーやスポーツ推進審議会委員も務める。

#### 【お問い合わせ・お申込先】

名寄市社会福祉協議会（地域支援係）

〒096-0011 名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター

TEL：01654-3-9862 ／ FAX：01654-3-9949

E-mail：chiiki@nayoro-shakyo.jp